【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2006-299392(P2006-299392A)
【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-043
【出願番号】特願2005-145991(P2005-145991)
【国際特許分類】
Ｃ２５Ｂ　11/12　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/46　(2006.01)
Ｃ２３Ｃ　16/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２５Ｂ　11/12
Ｃ０２Ｆ　1/46　Ｚ
Ｃ２３Ｃ　16/01

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月7日(2008.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
低圧気相合成法によって基板上にホウ素がドープされた導電性ダイアモンド膜を被覆した後に、該ダイアモンド膜を基板から一旦分離して導電性接着剤で別個の導電性電極板上に貼着せしめることを特徴とする、ダイアモンド電極の製造方法。
【請求項２】
基板上にホウ素がドープされた導電性ダイアモンド膜を被覆した後、該基板を溶解してダイアモンド膜を分離することを特徴とする、請求項１に記載のダイアモンド電極の製造方法。
【請求項３】
基板から分離した複数のホウ素がドープされたダイアモンド膜を導電性電極板上に配列して貼着せしめ、前記ダイアモンド膜の継ぎ目ならびに前記導電性電極板のすべての露出部を絶縁性樹脂で被覆することを特徴とする、ダイアモンド電極の製造方法。
【請求項４】
基板から分離されたホウ素がドープされた導電性ダイアモンド膜と、導電性電極板と、導線とを有し、
前記導線と前記導電性電極板が連結されており、
複数の前記ダイアモンド膜が前記導電性電極板上に配列されて導電性接着剤で貼着され、
前記導電性電極板上に配列された前記ダイアモンド膜の継ぎ目ならびに前記導電性電極板のすべての露出部が絶縁性樹脂で被覆されていることを特徴とする、ダイアモンド電極。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
上記目的を達成するために、請求項１に記載の発明は、低圧気相合成法によって基板上にホウ素がドープされた導電性ダイアモンド膜を被覆した後に、該ダイアモンド膜を基板から一旦分離して導電性接着剤で別個の導電性電極板上に貼着せしめることを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の発明において、基板上にホウ素がドープされた導電性ダイアモンド膜を被覆した後、該基板を溶解してダイアモンド膜を分離することを特徴としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また請求項３に記載の発明は、基板から分離した複数のホウ素がドープされたダイアモンド膜を導電性電極板上に配列して貼着せしめ、前記ダイアモンド膜の継ぎ目ならびに前記導電性電極板のすべての露出部を絶縁性樹脂で被覆することを特徴としている。
また請求項４に記載のダイアモンド電極は、基板から分離されたホウ素がドープされた導電性ダイアモンド膜と、導電性電極板と、導線とを有し、前記導線と前記導電性電極板が連結されており、複数の前記ダイアモンド膜が前記導電性電極板上に配列されて導電性接着剤で貼着され、前記導電性電極板上に配列された前記ダイアモンド膜の継ぎ目ならびに前記導電性電極板のすべての露出部が絶縁性樹脂で被覆されていることを特徴としている。